

コード	401030801
記入日	H24.5.25

課コード	116
課名	水産課
課長名	太田 均
担当者	松本 政義

# 事業評価表【事後評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	漁村再生交付金事業（神ノ浦漁港整備事業）
----------	----------------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 21 年度 ～ 平成 23 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	401	施策名称	水産業の振興	項コード	3
基本事業コード	40103	基本事業名称	水産業基盤整備の推進	目コード	4
事務事業コード	4010308	事務事業名称	国庫補助事業費（漁村再生交付金）	細目コード	1052
関連計画		法令・条例規則等	漁港漁場整備法		

## 計画（PLAN）

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1)	漁業者	(対象指標1)	83人			
(対象2)	1日当たり利用漁船	(対象指標2)	87隻			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
(全体計画) ・浮棧橋 1基 ・防火水槽（100t級）1基	(平成23年度) ・防火水槽（100t級）1基設置	① 浮棧橋	1.0箇所	100%	事業実施÷ 事業計画	平成22年度
		浮棧橋	1.0箇所	100%		平成23年度
		(達成率分析)	計画どおり実施できた。			
		② 防火水槽	1.0基	100%	実施事業÷ 計画事業	平成23年度
防火水槽	1.0基	100%		平成23年度		
(達成率分析)	100t級の防火水槽を計画どおり設置した。					
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・漁獲物の搬入、出漁準備作業等において、潮位の差が大きいため重労働を強いられている。また、集落内に防火水槽が無く、住民の火災に対して不安を持っている。このことから、浮棧橋、防火水槽の新設を行い漁業活動の就労環境、地域住民の生活環境の向上を図る。		① 進捗率	179,830千円	100%	実績事業費÷ 計画事業費	平成23年度
		進捗率	14,400千円	100%		平成23年度
		(達成率分析)	計画どおり実施できた。			
		②				
(達成率分析)						

## 実施（DO）

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 21 ～ H 23		22年度以前	23年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① 箇所	1	1	1		
	② 基	1	1		1	1
成果指標	① %	100	100	92.0	8.0	8.0
	②					
総事業費 C (A+B)	千円	184,030	184,030	168,230	15,800	15,800
直接事業費 A	千円	179,830	179,830	165,430	14,400	14,400
人件費 B	千円	4,200	4,200	2,800	1,400	1,400
内訳	従事職員数	人	0.6	0.4	0.2	0.2
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
の財源内訳	国補助金	千円	107,898	99,258	8,640	8,640
	県補助金	千円	18,288	16,560	1,728	1,728
	起債	千円	53,600	49,600	4,000	4,000
	その他	千円				
一般財源	千円	4,244	4,244	2,812	1,432	1,432

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理 由	基幹産業である水産業の基盤整備及び漁業集落環境整備は、漁港管理者である町が行うべきである。
	有 効 性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい いいえ	理 由	高齢化が進む漁業者の就労環境の整備により労力負担の軽減と漁業集落の安全性の確保が図られた。
	効 率 性	・より少ない費用や業務量で事業や活動が効率的に実施できましたか。	● はい いいえ	理 由	事業実施について、計画通り実施できた。

**改善 ( ACTION )**

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点 (事業方法の検証・事業の成果等の検証を踏まえて、今後の関連事業等に対する改善点)	
	水産基盤整備事業を計画的に推進し地域水産業の活性化を図る。	
1 次 評 価	○目的が達成されていない場合の課題と改善策 (目的が達成されていない場合、また、課題が継続している場合の改善策)	
	目的は達成された。	
2 次 評 価	漁港利用者の利便性の向上及び安全性を確保するために資する事業で水産業の振興を図るものである。	

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。